



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

Title	古田悦造先生 著作目録 (古田悦造先生を送る) (fulltext)
Author(s)	
Citation	学芸地理(71): 2-7
Issue Date	2016-02-18
URL	http://hdl.handle.net/2309/145212
Publisher	東京学芸大学地理学会
Rights	

古田悦造先生 著作目録

この著作目録は、古田悦造先生が2016(平成28)年3月に東京学芸大学を退職するまでの期間に刊行された単行本、雑誌論文、書評・文献紹介、講演の記録(印刷、雑誌掲載されたものに限る)から構成される。刊行年月の表示は、奥付の日付によった。

掲載順序は、刊行年次順(暦年)とし、同一年次のなかでは一定の分類と順序ごとに、刊行月順に配列した。単行本は、刊行月、編著者名、書名、発行所、総ページ数(分担執筆の場合は、カッコ内に分担執筆章節名、該当ページなど)の順に表示した。雑誌論文等は、刊行月、論文名(書評・文献紹介の場合は、著者名、書名)、掲載誌名、巻号数(通巻表示では通巻番号を、巻号表示では第2巻第1号を2(1)のように記す)、発行学会名または出版社名、該当ページ、の順で示した。ただし、頻出する下記の雑誌は発行社(会)名を省略した(誌名は50音順)。

学芸地理(東京学芸大学地理学会)

新地理(日本地理教育学会)

人文地理(人文地理学会)

地理学評論(日本地理学会)

東京学芸大学紀要 第3部門 社会科学(東京学芸大学)

歴史地理学, 歴史地理学紀要, 会員通信(歴史地理学会)

1976年

論説・研究ノート

- 3月 飯田周辺の電子部品工業・水引業の労働力構造, 学芸地理, 30, pp. 54~66.

1980年

書評・文献紹介

- 6月 大嶽幸彦著『アルザス農村の歴史地理学研究』, 新地理, 28(1), pp. 32~34.

1979年

論説・研究ノート

- 9月 九十九里浜中央部における豊凶漁期に伴う入口動態, 新地理, 27(2), pp. 13~26.

1981年

論説・研究ノート

- 12月 近世佃島における集落形態の一考察, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 33, pp. 39~46.

書評・文献紹介

- 3月 木村東一郎著『村図の歴史地理学』, 新地理, 28(4), pp. 18~19.

1983年

論説・研究ノート

- 7月 明治期における地籍図の呼称とその分布, 地理, 28(7), pp. 66~70.

報告書

- 3月 「近世関東における漁業集落の地域的展開」文部省科学研究費補助金研究成果報告書

1984年

論説・研究ノート

- 12月 江戸新肴場組魚問屋の成立と問屋仕入制度, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 36, pp. 65~73.

1985年

分担執筆

- 3月 山崎謹哉編『近世歴史地理学』, 大明堂, 184p. (分担執筆; 海産物流通の地域的特性, pp. 157~163.)

論説・研究ノート

- 5月 近世武蔵国佃島における集落の変容と空間認知, 歴史地理学紀要, 27, pp. 195~210.
- 10月 近世相模国浦賀における干鰯問屋の集荷圏と出荷圏, 地理学評論. Ser. A, 58(10), pp. 663~673.
- 6月 近世関東における関西漁民出漁地域の歴史地理学的研究, 新地理, 33(1), pp. 20~29.
- 3月 房総半島における関西漁民開拓集落の形成—下総国海上郡高神村外川浦の場合, 人類科学, 38, pp. 1~22.

1986年

論説・研究ノート

- 3月 「地の島」に関する空間認知とその変容—神奈川県江の島の場合, 人類科学, 39, pp. 81~93. (斎藤 毅と共著)

書評・文献紹介

- 12月 八日市市史編さん室編『八日市市の地名と景観』・野洲町史編さん室編『明治の村絵図』, 歴史地理学, 135, pp. 40~41.

1987年

論説・研究ノート

- 12月 江戸干鰯問屋の魚肥流通における地域構造, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 39, pp. 93~108.

書評・文献紹介

- 9月 菊池万雄編『近世都市の社会史』, 歴史地理学, 138, pp. 46~47.

1988年

論説・研究ノート

- 3月 近世後期関東における所領地の変動と魚肥流通, 歴史地理学紀要, 30, pp. 153~173.

書評・文献紹介

- 3月 山本正三・北村吉弘・田林明編著『異本の農村空間—変貌する日本農村の構造—』, 新地理, 35(4), pp. 58~59.
- 9月 山村順次著『日本の温泉地—その発達・現状とあり方』, 歴史地理学, 142, pp. 37~38

1989年

49～50.

論説・研究ノート

- 3月 わが国の明治20年代における魚肥価格の地域差, 学芸地理, 43, pp. 1～12.

書評・文献紹介

- 6月 木村 礎編著『村落景観の史的 연구』, 歴史地理学, 145, pp. 40～42.

1990年

論説・研究ノート

- 10月 近世近江国における魚肥の魚種転換と流通構造, 人文地理, 42(5), pp. 408～426.

書評・文献紹介

- 4月 高橋信夫・田林明・小野寺淳・中川正著『文化地理学入門』, 新地理, 38(2), pp. 51～52.
- 12月 韓国文化歴史地理研究会編『文化歴史地理』創刊号, 歴史地理学, 151, p. 39.

1991年

分担執筆

- 3月 市川健夫編『日本の風土と文化』, 古今書院, 279p. (分担執筆; 肥料と風土, pp. 180～194.)

論説・研究ノート

- 1月 近世末の下野国南東部における魚肥流通, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 42, pp. 137～155.

1992年

書評・文献紹介

- 6月, 河野通博著『光と影の庶民史—瀬戸内に生きた人びと』, 歴史地理学, 159, pp.

1993年

書評・文献紹介

- 9月 桑原公德編『歴史景観の復原—地籍図利用の歴史地理』, 歴史地理学, 159, pp. 40～41.

1994年

分担執筆

- 1月 山田安彦編著『方位と風土』, 古今書院, 288p. (分担執筆; 漁村における方位認識, pp. 227～243.)

論説・研究ノート

- 1月 地理学の分類に関する一考察—対象から方法へ, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 45, pp. 67～79.

書評・文献紹介

- 6月 小林照夫著『巨大都市と漁業集落—横浜のウォーターフロント』, 漁業経済研究, 39(1), pp. 72～76.

1995年

その他

- 1月 地籍図による復原における留意点とその説明・解釈—滝沢由美子報告によせて, 歴史地理学, 37(1) (通号172), pp. 76～79.

1996年

単著

- 2月 『近世魚肥流通の地域的展開』, 古今書院, 418p.

論説・研究ノート

- 1月 地理歴史科の発足と歴史地理学, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 47, pp. 125~138.

書評・文献紹介

- 6月 高橋伸夫・田林明・小野寺淳・中川正著『文化地理学入門』, 新地理, 44(1), pp. 40~42.

1997年

論説・研究ノート

- 3月 水津一郎と中心地理論—生態論と時間論と位相論—, 國學院雑誌, 98(3), pp. 20~28.

1999年

翻訳

- 2月 柳 濟憲「地域歴史地理学と文化生態学—文化的適応と地域人文生態系の概念を中心として(1)—」, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 50, pp. 71~79.

2000年

論説・研究ノート

- 3月 韓国の高等学校『韓国地理』教科書における環境教育の取扱い, 環境教育学研究, 10, pp. 85~91.
- 7月 韓国の牙山湾沿岸における干拓事業と地域開発, 学芸地理, 55, pp. 15~28.

書評・文献紹介

- 12月 岩崎公弥著『近世東海綿作地域の研究』, 歴史地理学, 42(5)(通号201), pp. 43~44.

2001年

編著・共編著

- 5月 有菌正一郎・遠藤匡俊・小野寺淳・古田悦造・溝口常俊・吉田敏弘編『歴史地理調査ハンドブック』, 古今書院, 249p. (分担執筆; 2-1 地形図・空中写真, pp. 18~21(小野寺淳と共著)., 2-2 地域調査と資料, pp. 30~33., 4-2-6 新田集落プラン, pp. 135~138., 5-1-7 経営帳簿, pp. 192~195.)

2002年

分担執筆

- 7月 竹内裕一・加賀美雅弘編『身近な地域を調べる』, 古今書院, 132p. (分担執筆; 古い民家を調べる, pp. 28~32.)

2004年

分担執筆

- 10月 辟雍会編『キャンパス周辺散策ガイド 武蔵野の自然と歴史』, 東京学芸大学出版会, 123p. (分担執筆; 第2章(5) 大学周辺の玉川上水を歩く, pp. 79~82.)

2005年

論説・研究ノート

- 1月 『武蔵野夫人』の地理学的一考察--水系を中心に, 東京学芸大学紀要. 第3部門, 社会科学, 50. pp. 43~50.

2007年

編著・共編著

- 4月 矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘・古田悦造編『地誌学概論』, 朝倉書店, 160p. (分担執筆; 1. 地誌学の視点と方法, pp. 1~8. [矢ヶ崎典隆・加賀美雅弘と共著], 3. 地域の形成と変化—多摩地域の歴史地誌—, pp. 16~21.)

分担執筆

- 7月 上野和彦・高橋日出男編『日本の諸地域』, 古今書院, 150p. (分担執筆; 2. 4 人口の永久移動と日々移動, pp. 74~76.)

論説・研究ノート

- 3月 日本・中国・韓国の将棋にみられる空間認識の比較研究, 東アジア日本語教育・日本文化研究, 10, pp. 279~287. (今村美奈と共著)

2008年

論説・研究ノート

- 12月 武蔵国多摩郡小川新田における開発目的の時代差, 学芸地理, 63, pp. 1~11.

翻訳

- 1月 李 恵恩「韓国ソウルにおける都市景観の変遷」, 歴史地理学, 50(1) (通号 237), pp. 19~33.

2009年

分担執筆

- 4月 菅野峰明ほか編『日本の地誌5 首都圏 I』, 朝倉書店, 580p. (分担執筆; 近世の南関東, pp. 30~37.)
- 7月 竹内裕一・加賀美雅弘編『身近な地域を調べる』増補版, 古今書院, 151p. (分

担執筆; 古い民家を調べる, pp. 28~32)

その他

- 12月 上野和彦先生のご退職にあたって (上野和彦先生に捧ぐ), 学芸地理, 64, pp. 19~20.

2010年

論説・研究ノート

- 1月 明暦大火前後における江戸の土地利用変化, 東京学芸大学紀要 人文社会科学系 II, 61, pp. 61~77. (田中麻衣と共著)

2011年

論説・研究ノート

- 1月 中学校地理教育における『江戸名所図会』挿図の教材化, 東京学芸大学紀要 人文社会科学系 II, 62, pp. 51~62.

2012年

論説・研究ノート

- 1月 地理歴史科の科目改革に関する一考察, 東京学芸大学紀要 人文社会科学系 II, 63, pp. 47~52.

2013年

論説・研究ノート

- 7月 近年10年の学芸地理学会の趨勢 巡検を中心として, 学芸地理, 68, pp. 4~6.

2014年

論説・研究ノート

- 1月 明治初年の東京銀座における地価分布の地域差，東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ，65，pp. 45～60. (小田めぐみと共著)
- 3月 江戸の3つの「六阿弥陀参」における「武州六阿弥陀参」の特徴，歴史地理学，56(2) (通号 269)，pp. 25～37.

2016年

単著

- 2月 『多摩地域の歴史地誌—水と生活—』，之潮，120p.

論説・研究ノート

- 1月 様々な先生方との巡り会い—自分史との関係から—，東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ，67，pp. 47～52.
- 2月 身近な地域調査と風景印の教材化—国分寺市域を事例として—，学芸地理，71，pp. 29～38.